

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

## PATENT COOPERATION TREATY

PCT

## NOTIFICATION OF ELECTION

(PCT Rule 61.2)

From the INTERNATIONAL BUREAU

To:

Commissioner  
US Department of Commerce  
United States Patent and Trademark  
Office, PCT  
2011 South Clark Place Room  
CP2/5C24  
Arlington, VA 22202  
United States of America

in its capacity as elected Office

Date of mailing (day/month/year) 04 December 2002 (04.12.02)	
International application No. PCT/JP01/03776	Applicant's or agent's file reference 01PCT004
International filing date (day/month/year) 01 May 2001 (01.05.01)	Priority date (day/month/year) 30 November 2000 (30.11.00)
Applicant FUJINO, Uichiro	

1. The designated Office is hereby notified of its election made:

☒ in the demand filed with the International Preliminary Examining Authority on:

28 June 2002 (28.06.02)

☐ in a notice effecting later election filed with the International Bureau on:2. The election ☒ was☐ was not

made before the expiration of 19 months from the priority date or, where Rule 32 applies, within the time limit under Rule 32.2(b).

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland Facsimile No.: (41-22) 740.14.35	Authorized officer Gregory LYNCH (Fax 338 7010) Telephone No.: (41-22) 338.83.38
---	--

09/869969  
5000

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



(43) 国際公開日  
2002 年 6 月 6 日 (06.06.2002)

PCT

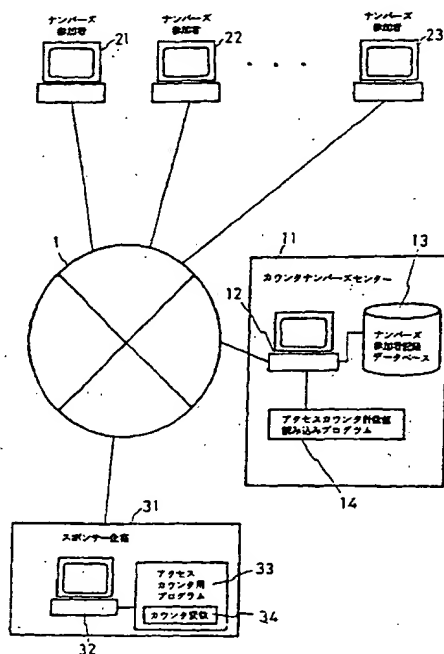
(10) 国際公開番号  
WO 02/44975 A1

- (51) 国際特許分類: G06F 17/60 谷区用賀三丁目18番5号 第2小林ビル 株式会社 ジョイントフォー内 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/03776
- (22) 国際出願日: 2001 年 5 月 1 日 (01.05.2001)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願 2000-364898  
2000 年 11 月 30 日 (30.11.2000) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 清水良男 (SHIMIZU, Yoshio) [JP/JP]; 〒158-0097 東京都世田
- (71) 出願人 および
- (72) 発明者: 藤野宇一郎 (FUJINO, Uichiro) [JP/JP]; 〒158-0097 東京都世田谷区用賀三丁目18番5号 第2小林ビル 株式会社 ジョイントフォー内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 瀬谷 徹 (SEYA, Toru); 〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目8番14号 遠山ビル 共生国際特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PL, PT,

[続葉有]

(54) Title: PRIZE SYSTEM USING ACCESS COUNTER

(54) 発明の名称: アクセスカウンタを利用した懸賞システム



- 11...COUNTER NUMBER CENTER  
13...NUMBERS GAME PARTICIPANT  
RECORDING DATABASE  
14...ACCESS COUNTER COUNT  
READING PROGRAM  
21...NUMBERS GAME PARTICIPANT  
22...NUMBERS GAME PARTICIPANT  
23...NUMBERS GAME PARTICIPANT  
31...SPONSOR COMPANY  
33...ACCESS COUNTER PROGRAM  
34...COUNTER VARIABLE

(57) Abstract: A Web site is often provided with an access counter. However, conventionally the access counter has been given a single function to display the number of accesses but has not been effectively exploited although it occupies a precious space on the top page. A counter number center (11) designates the site (31) of a sponsor company and performs the numbers game to guess the count of the access counter of the Web site on a designated date and time. The participants (21, 22 and 23) of the numbers game access the site (31) of the sponsor company to guess the count on the designated date/time in view of the count of the access counter and to register the guessed count in the counter numbers center (11). The counter numbers center (11) reads the count of the Web site of the sponsor company on the designated date/time and takes the count as the winning number.

WO 02/44975 A1



RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA,  
UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.

添付公開書類:  
— 国際調査報告書

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

---

(57) 要約:

ホームページ上にはアクセスカウンタが設けられている場合が多い。しかし、従来のアクセスカウンタはトップページ上の貴重なスペースを占有しているにも関わらず、その機能はアクセス数を表示するという単一の機能のものであり、有効に活用されていなかった。カウンタナンバーズセンター11は、スポンサー企業のサイト31を指定し、そのホームページのアクセスカウンタの値が、指定した日時に幾つになるかを予想するナンバーズゲームを行う。ナンバーズの参加者21、22、23はスポンサー企業のサイト31にアクセスし、アクセスカウンタを見て指定された日時の計数値を予想し、カウンタナンバーズセンター11に登録する。カウンタナンバーズセンター11では、指定した日時にスポンサー企業のホームページのカウント値を読み取り、それを当選番号とする。

## 明 細 書

## アクセスカウンタを利用した懸賞システム

## 5 技術分野

本発明は、スポンサー企業が公開するホームページ上のアクセスカウンタの、予め指定した日時における計数値を基に当選番号を決定する懸賞システムに関するものである。

## 背景技術

- 10 インターネットのホームページには、そのサイトへの訪問者数（アクセス数）を表示するアクセスカウンタが設けられている場合が多い。このアクセスカウンタは、ホームページにアクセスあった場合に、Webサーバ側でアクセスカウンタ用のプログラムを実行し、そのプログラム内のカウンタ変数を+1ずつ更新し、そのカウンタ変数の値をHTMLデータと共に、アクセスした側の端末装置に送信し、アクセスした側の端末装
- 15 置で「あなたは、7777番目のお客様です」などのように表示を行うものである。

このアクセスカウンタにより、ホームページの作成者は、自分のサイトの人気度、利用度を知ることができ、ホームページの運営方針がユーザのニーズに合っているかどうかを検証することができる。

- また、アクセスする側では、このアクセスカウンタのアクセス数を見て、このホーム
- 20 ページの人気度、有用性などがある程度判断でき、ホームページ内に盛られたコンテンツを見るかどうかの判断材料の一つにすることができる。このような利便性のために、ほとんどのホームページにはアクセスカウンタが設けられている。

上述のように、インターネットのホームページ上には、アクセスカウンタが設けられている場合が多い。しかもこのアクセスカウンタは、トップページ上の目立つ場所に設

- けられることが多い。しかし、このアクセスカウンタはそのサイトの人気度や信頼性を  
知るという利便性はあるものの、基本的には過去の来訪者数（アクセス数）を表示する  
だけの目的で使用されている。このように従来のアクセスカウンタはトップページ上の  
貴重なスペースを占有しているにも関わらず、その機能はアクセス数を表示するという
- 5 単一の機能のものであった。

本発明は、斯かる実情に鑑みなされたものであり、アクセスカウンタをより有効に活  
用するためのアクセスカウンタを利用した懸賞システムを提供することを目的とする。

#### 発明の開示

- 10 本発明によれば、上述の目的は請求の範囲に記載した手段により達成される。すなわ  
ち、請求の範囲第1項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インターネ  
ットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用  
した懸賞システムにおいて、懸賞の対象となるホームページを指定すると共に、該ホ  
ムページのアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値を基に、当選番号を決  
15 定することを特徴とする。

- また、請求の範囲第2項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インタ  
ーネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを  
利用した懸賞システムにおいて、懸賞の対象となるホームページを指定すると共に、該  
ホームページのアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値中の1桁または複  
20 数の桁の数値を基に、当選番号を決定することを特徴とする。

また、請求の範囲第3項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インタ  
ーネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを  
利用した懸賞システムにおいて、懸賞の対象となるホームページを指定すると共に、該  
ホームページのアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値中の下1桁または

下複数桁の数値を基に、当選番号を決定することを特徴とする。

- また、請求の範囲第4項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定
- 5 する手段と、前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値を基に、当選番号を決定する手段と、懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付ける手段とを備えたことを特徴とする。

- また、請求の範囲第5項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定
- 10 する手段と、前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値中の1または複数の桁の数値を基に、当選番号を決定する手段と、懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付ける手段とを備えたことを特徴とする。

- また、請求の範囲第6項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定
- 15 する手段と、前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの、予め指定した日時における計数値中の下1桁または下複数桁の数値を基に、当選番号を決定する手段と、懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付ける手段とを備えたことを特徴と
- 20 する。

また、請求の範囲第7項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第4項から第6項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、前記懸賞のスポンサーとなる事業者を、所定の懸賞募集期間ごとに変更することを特徴とする。

また、請求の範囲第8項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第4項から第7項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、インターネット上で懸賞の実施要領を公開すると共に、予め指定した日時におけるアクセスカウンタの計数値を基に決定される当選番号の予想値を、懸賞の参加者からインターネットを介して受付登録するカウンタナンバーズセンターを設けたことを特徴とする。

また、請求の範囲第9項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第8項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、懸賞の当選者が、当選した旨を前記カウンタナンバーズセンターに申し出た場合に限り賞金または賞品を授与することを特徴とする。

また、請求の範囲第10項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第8項または第9項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、前記カウンタナンバーズセンターのWebサーバには、ホームページ上で懸賞の実施要領を公開する手段と、予想当選番号の登録を所定の応募期間、インターネットを介して受付ける手段と、予想当選番号の応募期間の終了後の予め指定された日時に、スポンサーとなる事業者が公開するホームページ上のアクセスカウンタの計数値を読み取り、該計数値を基に当選番号を決定する手段と、前記当選番号をホームページ上で発表する手段とを備えたことを特徴とする。

また、請求の範囲第11項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第8項から第10項のいずれか1項に記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、前記カウンタナンバーズセンターのWebサーバには、ホームページ上で懸賞の実施要領を公開する手段と、メールマガジンに登録した参加者に電子メールにより懸賞の実施要領を通知する手段と、予想当選番号の登録を所定の応募期間、インターネットを介して受付ける手段と、予想当選番号の応募期間の終了後の予め指定された



日時に、スポンサーとなる事業者が公開するホームページ上のアクセスカウンタの計数値を読み取り、該計数値を基に当選番号を決定する手段と、前記当選番号をメールマガジンに登録した参加者に電子メールで通知する手段と、前記当選番号をホームページ上で発表する手段とを備えたことを特徴とする。

- 5      また、請求の範囲第12項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第1項から第11項のいずれか1項に記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、当選者がいない場合、あるいは懸賞の賞金または賞品の受取対象者がいない場合には、該賞金または賞品を次回の懸賞募集に繰り越すことを特徴とする。

- 10      また、請求の範囲第13項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第1項から第12項のいずれか1項に記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、当選者が複数人いる場合には、懸賞の賞金または賞品を分配して授与することを特徴とする。

- 15      尚、前記閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタは、ホームページの閲覧者数をカウントして計数値を加算していく方式が一般的であるが、閲覧者数に対応して変化する数字列、文字列或いは図形であっても良く、さらに増減もいずれの方向であってもよい。アクセスカウンタは、変化した値、形状を指定できるものであれば何れでもよい。

#### 図面の簡単な説明

- 20      第1図は、本発明の実施の形態のシステム構成の一例を示す図であり、第2図は、第1図のシステムの動作を説明するための図であり、第3図は、本発明の実施の形態の他の例の動作を説明するための図である。

#### 発明の実施するための最良の形態

以下、本発明の実施の形態を図示例と共に説明する。

第1図は、本発明の実施の形態のシステム構成の一例を示す図であって、図中、1はインターネット、11はアクセスカウンタを使用したナンバーズゲームを主催するカウンタナンバーズセンター、12はカウンタナンバーズセンターのWebサーバ、13は「ナンバーズゲームへの参加者」と「参加者が予想したカウント値」を登録するデータベース、14はスポンサー企業のサイトのアクセスカウンタの計数値を読み込むアクセスカウンタ計数値読み込みプログラム、21、22、23はナンバーズゲームの参加者の端末装置、31はスポンサー企業のサイト、32はスポンサー企業のWebサーバ、33はアクセスカウンタ用のプログラム、34はカウンタ変数を示している。

第1図のシステム構成において、カウンタナンバーズセンター11は、スポンサー企業のサイト31が公開しているホームページ上のアクセスカウンタの計数値（前もって指定した日時における計数値）を当てるナンバーズゲームを主催する。そのために、カウンタナンバーズセンター11は、ナンバーズゲームの実施要領を、ホームページ上で公開する。また、メールマガジンにて登録した会員に通知する。スポンサー企業のサイト31のWebサーバ32には、アクセスカウンタ用のプログラム33が内蔵されており、ホームページにアクセスがある度ごとに、カウンタ変数34は+1ずつ更新される。

ナンバーズゲームの参加者21、22、23は、スポンサー企業のサイト31のホームページを開き、そのホームページ上のアクセスカウンタを見て、懸賞の実施要領の説明の中で指定された日時（抽選日時）におけるアクセスカウンタの計数値を予想する。そして、予想した数値をカウンタナンバーズセンター11のWebサーバ12に送信する。Webサーバ12では、ナンバーズゲームの参加者21、22、23からの予想数値の登録を受付、データベース13に記録する。

懸賞募集の応募期間の終了後、予め決められた抽選日時に到達すると、カウンタナンバーズセンター11のWebサーバ12は、アクセスカウンタ計数値読み取りプログラム14を起動し、スポンサー企業のサイト31が公開するホームページ上のアクセスカ

ウンタの計数値を読み込み保存する。この計数値がナンバーズゲームの当選番号となる。

カウンタナンバーズセンター 11 では、当選番号をホームページ上で公開する。また、メールマガジンにより登録した会員にも当選番号を通知する。また、ナンバーズゲームの 1 クール（懸賞募集期間）が終了すると、スポンサー企業を変えて、次のナンバーズ  
5 ゲームを開始する。

また、第 2 図は第 1 図のシステムの動作を説明するための図であり、以下第 2 図を基に、その動作について説明する。

（1）最初に、カウンタナンバーズセンター 11 と、ナンバーズゲームのスポンサーとなるスポンサー企業とが、ナンバーズゲームを実施するための条件交渉を行い、ナン  
10 バーズゲームの実施期間、賞金または賞品、スポンサー料などについて打ち合わせを行い決定する（ステップ S 1、S 2、S 3）。

（2）カウンタナンバーズセンター 11 では、メールマガジンに登録した参加者へ電子メールを送信し、ナンバーズゲームの実施要領（「懸賞方法及び応募方法」等）について連絡する。また、カウンタナンバーズセンター 11 が公開する懸賞ホームページ上に、  
15 ナンバーズゲームの実施要領を表示する（ステップ S 4）。

（3）一方、ナンバーズのスポンサー企業のサイト 31 が公開するホームページでも、アクセスカウンタの計数値を予想するナンバーズゲームが行われていることと、その実施要領について説明する（ステップ S 5）。

（4）それから、カウンタナンバーズセンター 11 では、ナンバーズゲームへの「参加者」と「参加者の予想したカウンタの計数値」の登録を開始する（ステップ S 6）。本  
20 例では、この登録期間（懸賞募集期間）は 1 週間であり、1 週間毎にナンバーズゲームの対象となるホームページが変更される。

（5）ナンバーズゲームへの参加者 21、22、23 は、メールマガジンにより電子メールで連絡を受けるか、またはカウンタナンバーズセンター 11 が公開する懸賞ホー

ムページを見て、ナンバーズゲームが行われていることと、その懸賞方法と応募方法を知る。そして、スポンサー企業のサイト31が公開するホームページを見る（ステップS7）。

5 (6) それから、そのホームページ上のアクセスカウンタの計数値を見て、懸賞方法の説明の中で指定された日時（抽選日時）に、アクセスカウンタの計数値が幾つになるかを予想して、カウンタナンバーズセンター11に登録する（ステップS8）。

(7) カウンタナンバーズセンター11では、懸賞の応募登録を開始してから、1週間後に受付を終了する（ステップS9）。

10 (8) カウンタナンバーズセンター11では、登録受付の終了後、予め決められた日時（抽選日時）に、スポンサー企業のサイト31が公開するホームページのアクセスカウンタの計数値を読み取る（ステップS10）。この計数値が当選番号となる。本例では「469781」が当選番号となる。

15 (9) それから、当選番号を、メールマガジンに登録した参加者に電子メールにより通知する。また、カウンタナンバーズセンター11が公開する懸賞ホームページ上で、当選番号を発表する（ステップS11）。

(10) ナンバーズ参加者21、22、23は、電子メールまたはカウンタナンバーズセンター11が公開する懸賞ホームページの当選発表記事にて、自分が予想した計数値が当たっているかどうかを調べ、当たっている場合には、その旨をカウンタナンバーズセンター11に名乗り出る（ステップS12）。

20 (11) カウンタナンバーズセンター11では、当選者が名乗り出た場合には、賞金または賞品を、当選者数に応じて分配して送付する（ステップS13）。

(12) 当選者がいなかった場合や、当選者が名乗り出なかった場合には、賞金や賞品を次週の懸賞募集に繰り越す（ステップS14）。

(13) その後、新しいスポンサー企業のサイトを発表して、次のナンバーズゲーム

のクールを開始する（ステップS 15）。

また第3図は、本発明の実施の形態の他の例の動作を説明するための図である。

第3図において、41はカウンタナンバーズセンター、42はスポンサー企業のサイト、43はナンバーズゲームへの参加者、44はナンバーズゲームの当選者を示している。本例は、スポンサー企業のサイト42が公開するホームページ上のアクセスカウンタの下4桁の計数値を予想するナンバーズゲームの例である。

以下、本例の動作について説明する。

(1) カウンタナンバーズセンター41は、その収入源として、「発行するメールマガジンでの広告料（ステップS 51）」、「ホームページ上に掲するバナー広告による広告料（ステップS 52）」、「ナンバーズゲームのスポンサー企業からの広告料（ステップS 53）」をその収入源として運営されている。

(2) カウンタナンバーズセンター41では、ナンバーズゲームの対象となるスポンサー企業のサイト42を「メールマガジン」や「懸賞ホームページ」で発表する（ステップS 54）。

(3) ナンバーズゲームの参加者43は、「メールマガジン」や「懸賞ホームページ」によりターゲットサイト（懸賞の対象となるスポンサー企業のサイト）を確認する（ステップS 55）。

(4) ナンバーズゲームの参加者43は、スポンサー企業のサイト42が公開するホームページを見る。そのホームページ上のアクセスカウンタの計数値を見て、指定された日時（抽選日時）にアクセスカウンタの計数値が幾つになるかを予想する（ステップS 56）。

(5) 予想したカウント値を、カウンタナンバーズセンター41が公開するホームページ（懸賞ホームページ）を通してカウンタナンバーズセンター41に登録する（ステップS 57）。

(6) カウンタナンバーズセンター41は、ナンバーズの登録期間の終了後、懸賞の実施要領中で指定した日時に、スポンサー企業のサイト42が公開するホームページのアクセスカウンタの計数値を読み込み、このアクセスカウンタの計数値の下4桁を当選番号とする(ステップS58、S59、S60)。

5 (7) この当選番号は、メールマガジンにより登録した参加者に電子メールで通知されるとともに、カウンタナンバーズセンター41が公開する懸賞ホームページ上で発表される(ステップS61)。

(8) 当選者がある場合は、当選者44はメールマガジンまたは懸賞ホームページで、自分が予想した計数値が当選していることを確認する(ステップS66、S67、S68)。

10

(9) 当選者44は、カウンタナンバーズセンター41に「自分が当選者である」ことを名乗り出る(ステップS69)。

(10) カウンタナンバーズセンター41では、当選者44の正否の確認を行う(ステップS70)。

15 (11) カウンタナンバーズセンター41では、当選者44が複数人いる場合は、賞金または賞品を分配して送付する(ステップS71)。

(12) 当選者がいない場合または当選者が名乗りでない場合は、賞金または賞品を次週の懸賞募集に繰り越す(ステップS63)。

(13) スポンサー企業は毎週変わり、次のナンバーズゲームのクールが開始される(ステップS64、S65)。

20

なお、以上説明した実施の形態の例では、ナンバーズゲームの当選者が自ら名乗り出て賞金または賞品を受け取る例を示したが、カウンタナンバーズセンター11から当選者に当選したことを連絡し、賞金または賞品を送付することができることは言うまでもない。

- また、以上説明した実施の形態では、当選番号を「アクセスカウンタの計数値」及び「アクセスカウンタの計数値の下4桁」とする場合の例について説明したが、その他に「アクセスカウンタの計数値の各桁の数値の任意の組み合わせ」、「アクセスカウンタの計数値の上4桁」、「アクセスカウンタの計数値の各桁の数値を足し算する」等の種々の方法を用いることができる。

またさらに、本発明のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、上述の図示例にのみ限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々変更を加え得ることは勿論である。

#### 10 産業上の利用可能性

以上、説明したように本発明のアクセスカウンタを利用した懸賞システムによれば、選定したサイトが公開するホームページのアクセスカウンタの計数値を予想させ、正解者には賞金また賞品を与えるようにしたので、アクセスカウンタを単なる来訪者の計数機能に使用するだけでなく、アクセスカウンタを有効に活用することができる。

- 15 また、ナンバーズゲームの参加者は、アクセスカウンタの状態が気になり、頻繁にスポンサー企業のホームページへアクセスするようになるので、スポンサー企業のホームページの広告効果が高まる。

- また、ナンバーズゲームの参加者以外の人も含めた不特定多数の人間が、このアクセスカウンタの計数値に関係し得るというインターネットの性質上、ナンバーズゲームの  
20 参加者は、自己のアクセスにより、ある程度カウンタの計数値をコントロールすることが可能かのような期待感を抱き、ゲーム性がある面白く、ホームページへのアクセス数が増大する。

また、当選者がいない場合には、賞金等を次の懸賞募集に繰り越すようにしたので、場合によっては賞金が高額となる場合もあり、ナンバーズゲームの参加者の射幸心が刺

激され、ホームページへのアクセス数が増大し、広告効果が上がる。



## 請 求 の 範 囲

1. インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、
- 5 懸賞の対象となるホームページを指定すると共に、該ホームページのアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値を基に、当選番号を決定することを特徴とするアクセスカウンタを利用した懸賞システム。
  2. インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、
- 10 懸賞の対象となるホームページを指定すると共に、該ホームページのアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値中の1桁または複数の桁の数値を基に、当選番号を決定することを特徴とするアクセスカウンタを利用した懸賞システム。
  3. インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、
- 15 懸賞の対象となるホームページを指定すると共に、該ホームページのアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値中の下1桁または下複数桁の数値を基に、当選番号を決定することを特徴とするアクセスカウンタを利用した懸賞システム。
  4. インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、
- 20 懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定する手段と、  
前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値を基に、当選番号を決定する手段と、  
懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付ける手段とを備えたことを特徴とするアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

5. インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、

懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定する手段と、

前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値

5 中の1または複数の桁の数値を基に、当選番号を決定する手段と、

懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付る手段とを備えたことを特徴とするアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

6. インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、

10 懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定する手段と、

前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの、予め指定した日時における計数値中の下1桁または下複数桁の数値を基に、当選番号を決定する手段と、

懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付る手段とを備えたことを特徴とするアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

15 7. 前記懸賞のスポンサーとなる事業者を、所定の懸賞募集期間ごとに変更することを特徴とする請求の範囲第4項から第6項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

8. インターネット上で懸賞の実施要領を公開すると共に、予め指定した日時におけるアクセスカウンタの計数値を基に決定される当選番号の予想値を、懸賞の参加者からインターネットを介して受付登録するカウンタナンバーズセンターを設けたことを特徴とする請求の範囲第4項から第7項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

9. 懸賞の当選者が、当選した旨を前記カウンタナンバーズセンターに申し出た場合に限り賞金または賞品を授与することを特徴とする請求の範囲第8項記載のアクセスカウ

ンタを利用した懸賞システム。

10. 前記カウンタナンバーズセンターのWebサーバには、

ホームページ上で懸賞の実施要領を公開する手段と、

予想当選番号の登録を所定の応募期間、インターネットを介して受付ける手段と、

- 5 予想当選番号の応募期間の終了後の予め指定された日時に、スポンサーとなる事業者が公開するホームページ上のアクセスカウンタの計数値を読み取り、該計数値を基に当選番号を決定する手段と、

前記当選番号をホームページ上で発表する手段とを備えたことを特徴とする請求の範囲第8項または第9項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

- 10 11. 前記カウンタナンバーズセンターのWebサーバには、

ホームページ上で懸賞の実施要領を公開する手段と、

メールマガジンに登録した参加者に電子メールにより懸賞の実施要領を通知する手段と、

予想当選番号の登録を所定の応募期間、インターネットを介して受付ける手段と、

- 15 予想当選番号の応募期間の終了後の予め指定された日時に、スポンサーとなる事業者が公開するホームページ上のアクセスカウンタの計数値を読み取り、該計数値を基に当選番号を決定する手段と、

前記当選番号をメールマガジンに登録した参加者に電子メールで通知する手段と、

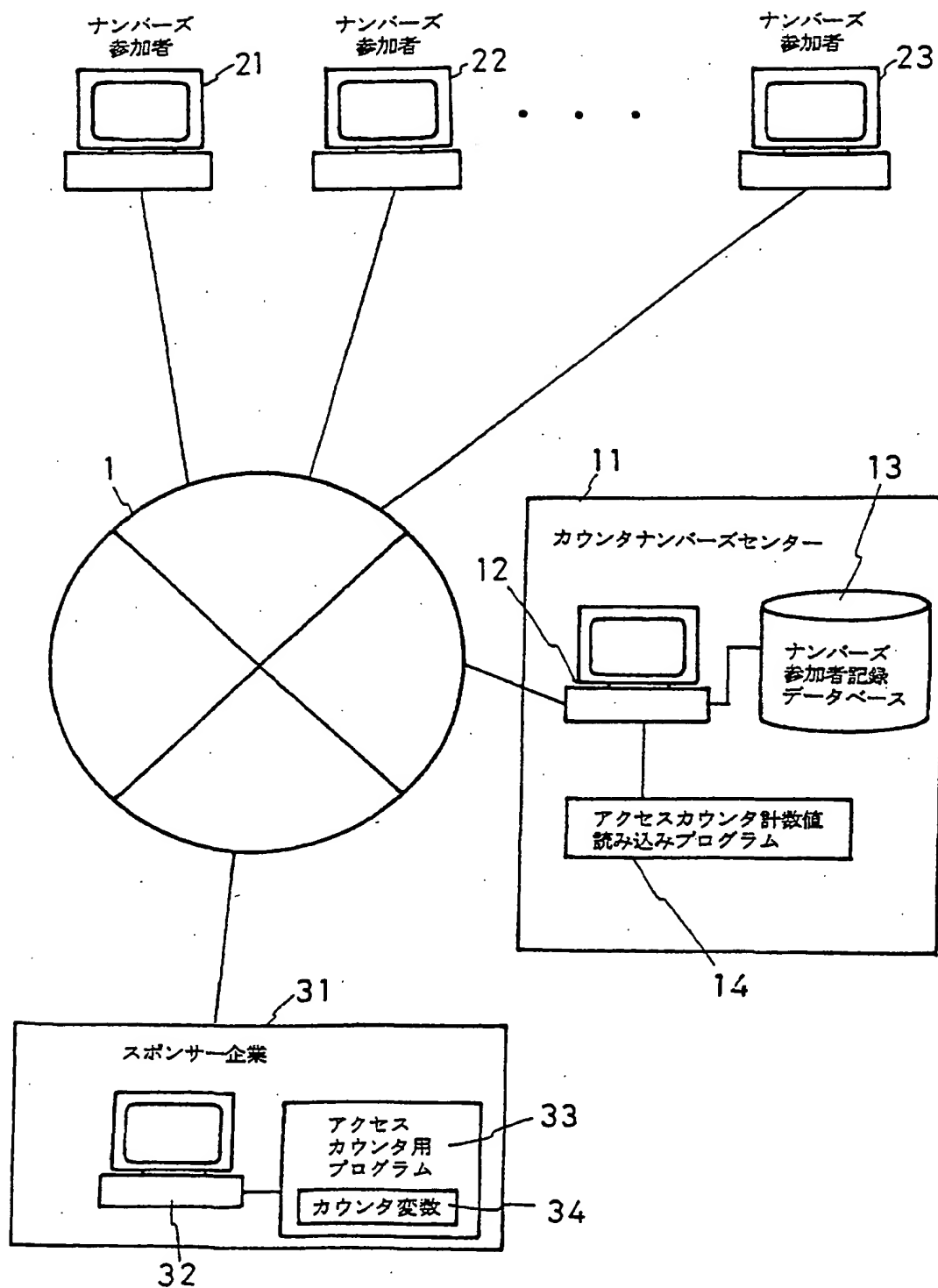
- 20 前記当選番号をホームページ上で発表する手段とを備えたことを特徴とする請求の範囲第8項から第10項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

12. 当選者がいない場合、あるいは懸賞の賞金または賞品の受取対象者がいない場合には、該賞金または賞品を次回の懸賞募集に繰り越すことを特徴とする請求の範囲第1項から第11項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

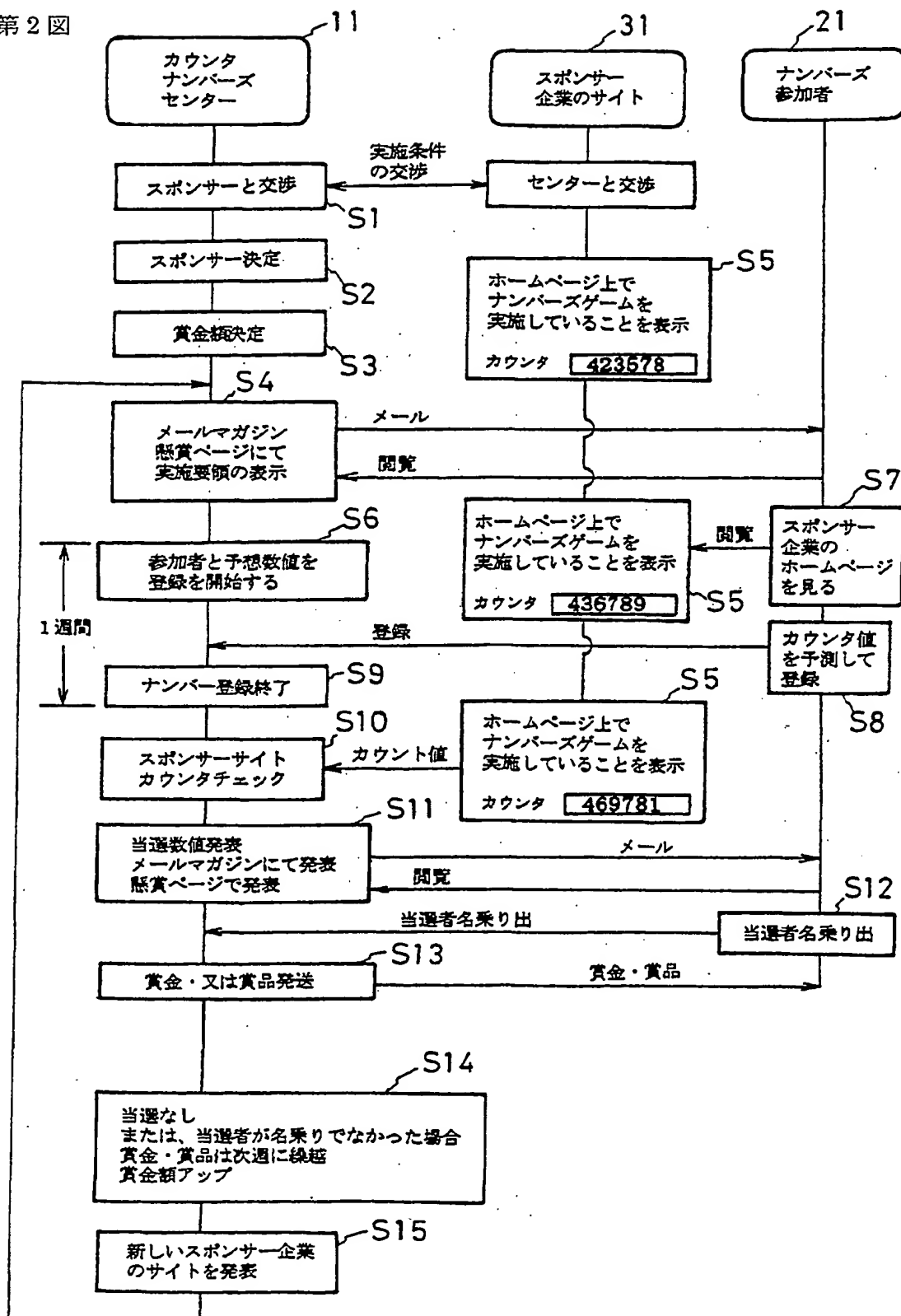
13. 当選者が複数人いる場合には、懸賞の賞金または賞品を分配して授与することを

特徴とする請求の範囲第 1 項から第 12 項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

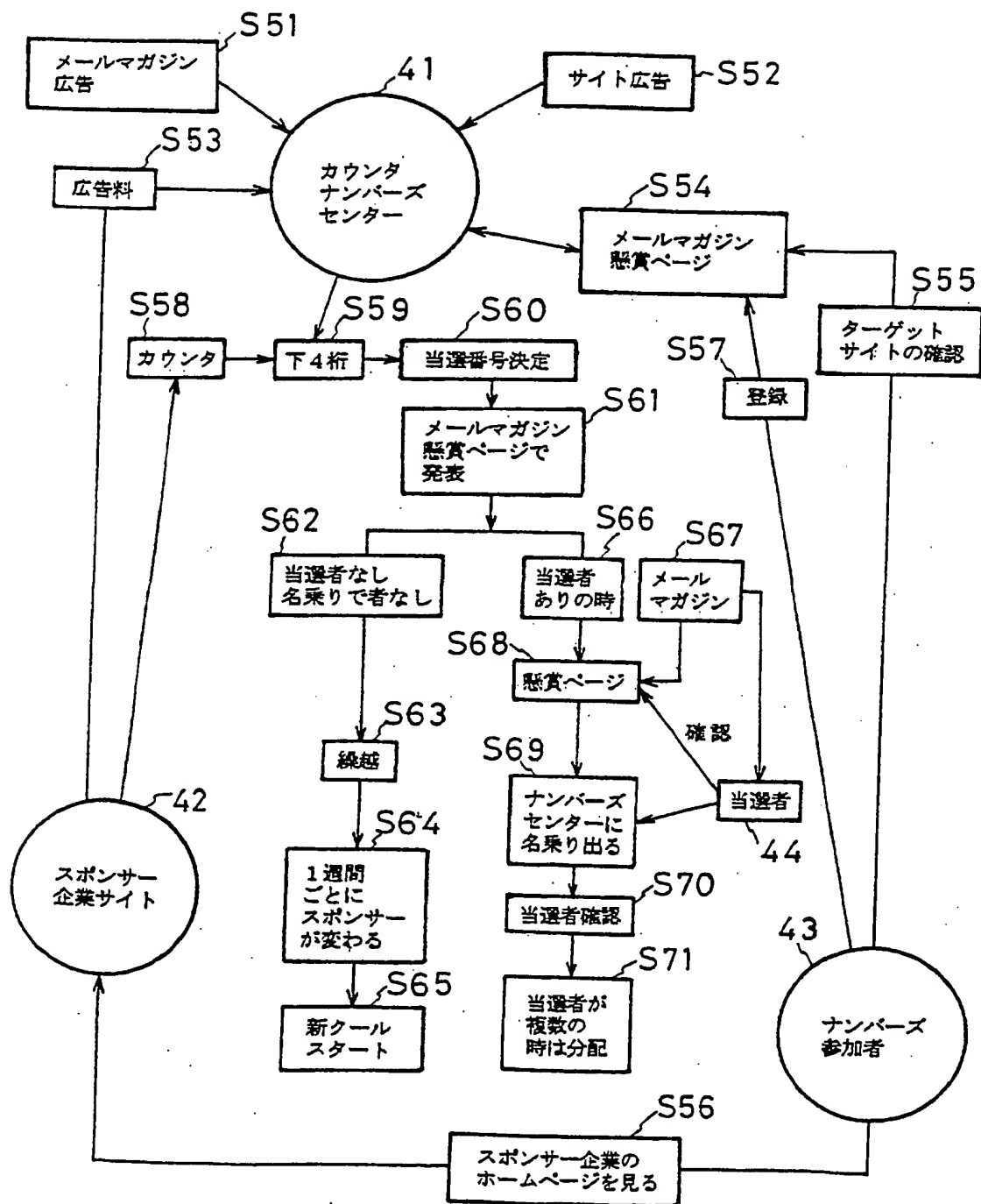
第1図



第2図



第3図



## 符 号 の 説 明

- 1 インターネット
- 1 1 カウンタナンバーズセンター
- 1 2 カウンタナンバーズセンターのW e b サーバ
- 1 3 データベース
- 1 4 アクセスカウンタ計数値読み込みプログラム
- 2 1、2 2、2 3 ナンバーズゲームの参加者の端末装置
- 3 1 スポンサー企業のサイト
- 3 2 スポンサー企業のW e b サーバ
- 3 3 アクセスカウンタ用プログラム
- 3 4 カウンタ変数
- 4 1 カウンタナンバーズセンター
- 4 2 スポンサー企業のサイト
- 4 3 ナンバーズゲームの参加者
- 4 4 当選者



## 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)  
[PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 01PCT004	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220)及び下記5を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP01/03776	国際出願日 (日.月.年) 01.05.01	優先日 (日.月.年) 30.11.00	
出願人 (氏名又は名称) 藤野 宇一郎			

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。  
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 2 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

## 1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。

☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。

b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。

☐ この国際出願に含まれる書面による配列表

☐ この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

☐ 出願後に、この国際調査機関に提出された書面による配列表

☐ 出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

☐ 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

2. ☐ 請求の範囲の一部の調査ができない(第I欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している(第II欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 第III欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 要約書とともに公表される図は、

第 1 図とする。 ☒ 出願人が示したとおりである。

☐ なし

☐ 出願人は図を示さなかった。

☐ 本図は発明の特徴を一層よく表している。

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> G06F17/60

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> G06F17/60, 19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2001年
日本国登録実用新案公報	1994-2001年
日本国実用新案登録公報	1996-2001年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JICSTファイル (JOIS), INSPEC (DIALOG)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 2000-67137 A (ソニー株式会社), 3. 3月. 2000 (03. 03. 00) (ファミリーなし)	1-13
Y	JP 2000-215255 A (日本電信電話株式会社), 4. 8月. 2000 (04. 08. 00) (ファミリーなし)	1-13
PX	JP 2000-330902 A (ソニー株式会社), 30. 11月. 2000 (30. 11. 00) (ファミリーなし)	1-6
A	Internetworking, Vol. 3, No. 8, 株式会社アスキー, 1. 8月. 1997 (01. 08. 97) pp. 134-138	1-13

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技术水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

17. 07. 01

国際調査報告の発送日

31.07.01

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

吉田 耕一



5 L

9194

電話番号 03-3581-1101 内線 3560

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> G06F17/60

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> G06F17/60, 19/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年  
 日本国公開実用新案公報 1971-2001年  
 日本国登録実用新案公報 1994-2001年  
 日本国実用新案登録公報 1996-2001年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JICSTファイル (JOIS), INSPEC (DIALOG)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 2000-67137 A (ソニー株式会社), 3. 3月. 2000 (03. 03. 00) (ファミリーなし)	1-13
Y	JP 2000-215255 A (日本電信電話株式会社), 4. 8月. 2000 (04. 08. 00) (ファミリーなし)	1-13
PX	JP 2000-330902 A (ソニー株式会社), 30. 11月. 2000 (30. 11. 00) (ファミリーなし)	1-6
A	Internetworking, Vol. 3, No. 8, 株式会社アスキー, 1. 8月. 1997 (01. 08. 97) pp. 134-138	1-13

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&amp;」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

17. 07. 01

国際調査報告の発送日

31.07.01

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)  
 郵便番号 100-8915  
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

吉田耕一



5L

9194

電話番号 03-3581-1101 内線 3560

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/03776

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER  
Int.Cl.<sup>7</sup> G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl.<sup>7</sup> G06F17/60, 19/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2001

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2001 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2001

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

JICST FILE (JOIS), INSPEC (DIALOG)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2000-67137 A (Sony Corporation), 03 March, 2000 (03.03.00) (Family: none)	1-13
Y	JP 2000-215255 A (Nippon Telegr. & Teleph. Corp. <NTT>), 04 August, 2000 (04.08.00) (Family: none)	1-13
PX	JP 2000-330902 A (Sony Corporation), 30 November, 2000 (30.11.00) (Family: none)	1-6
A	"Internetworking", Vol.3, No.8, Kabushiki Kaisha Ascii, 01 August, 1997 (01.08.97), pages 134 to 138	1-13

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&amp;" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
17 July, 2001 (17.07.01)Date of mailing of the international search report  
31 July, 2001 (31.07.01)Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

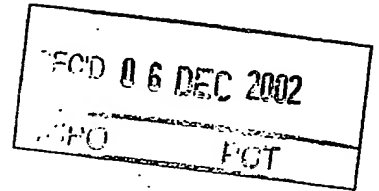
Facsimile No.

Telephone No.

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)  
〔PCT36条及びPCT規則70〕



出願人又は代理人 の書類記号 01PCT004	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知（様式PCT/ IPEA/416）を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP01/03776	国際出願日 (日.月.年) 01.05.01	優先日 (日.月.年) 30.11.00	
国際特許分類 (IPC)  Int. Cl <sup>7</sup> G06F17/60			
出願人 (氏名又は名称) 藤野 宇一郎			

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。  <input checked="" type="checkbox"/> この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で 6 ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。  I <input checked="" type="checkbox"/> 国際予備審査報告の基礎 II <input type="checkbox"/> 優先権 III <input type="checkbox"/> 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 IV <input type="checkbox"/> 発明の単一性の欠如 V <input checked="" type="checkbox"/> PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 VI <input type="checkbox"/> ある種の引用文献 VII <input type="checkbox"/> 国際出願の不備 VIII <input type="checkbox"/> 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 28.06.02	国際予備審査報告を作成した日 22.11.02		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員)  吉 田 耕 一	5 L	9 194
電話番号 03-3581-1101 内線 3560			

## I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に  
 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。  
 PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書 第 1, 4, 6-12 ページ、 出願時に提出されたもの  
 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 明細書 第 2, 3, 5 ページ、 07.11.02 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 請求の範囲 第 4-11 項、 出願時に提出されたもの  
 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 請求の範囲 第 12, 13 項、 07.11.02 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 図面 第 1-3 ~~ページ~~/図、 出願時に提出されたもの  
 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

☐ 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 出願時に提出されたもの  
 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である \_\_\_\_\_ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語  
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語  
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☐ この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった  
☐ 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 1-3 項  
☐ 図面 図面の第 \_\_\_\_\_ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

## V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性(N)

請求の範囲

4-13

有

請求の範囲

無

進歩性(IS)

請求の範囲

有

請求の範囲

4-13

無

産業上の利用可能性(IA)

請求の範囲

4-13

有

請求の範囲

無

## 2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

## 国際調査報告で引用された文献

文献1: JP 2000-67137 A (ソニー株式会社),  
2000.03.03 (ファミリーなし)

文献2: JP 2000-215255 A (日本電信電話株式会社),  
2000.08.04 (ファミリーなし)

文献3: Internetworking, Vol.3, No.8, 株式会社アスキー,  
1997.08.01, pp.134-138

## 説明

文献1には、インターネットを介して懸賞の応募及び抽選結果通知を行うシステムが記載されており、文献2には、インターネットを介してナンバーくじなどの参加型くじを行うシステムが記載されている。文献3に記載されるように、Webページにランダム・アクセスカウンタを設けることは周知であり、所定日時における特定のWebページのランダム・アクセスカウンタの示す値を予想する参加型くじを懸賞の対象とすることは、専ら人為的な取り決め事項によるものであって、そのためのシステム変更に技術的な困難性は認められず、当業者であれば容易に想到し得たものである。また、懸賞の実施要領を告知することは、通常行われている事項にすぎない。

よって、請求の範囲4-13は、文献1-3により進歩性を有しない。

けられることが多い。しかし、このアクセスカウンタはそのサイトの人気度や信頼性を  
知るという利便性はあるものの、基本的には過去の来訪者数（アクセス数）を表示する  
だけの目的で使用されている。このように従来のアクセスカウンタはトップページ上の  
貴重なスペースを占有しているにも関わらず、その機能はアクセス数を表示するという

5 単一の機能のものであった。

本発明は、斯かる実情に鑑みなされたものであり、アクセスカウンタをより有効に活  
用するためのアクセスカウンタを利用した懸賞システムを提供することを目的とする。

#### 発明の開示

10 本発明によれば、上述の目的は請求の範囲に記載した手段により達成される。すなわ  
ち、

15

20



請求の範囲第4項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定  
5 する手段と、前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値を基に、当選番号を決定する手段と、懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付ける手段とを備えたことを特徴とする。

また、請求の範囲第5項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定  
10 する手段と、前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値中の1または複数の桁の数値を基に、当選番号を決定する手段と、懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付ける手段とを備えたことを特徴とする。

また、請求の範囲第6項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定  
15 する手段と、前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの、予め指定した日時における計数値中の下1桁または下複数桁の数値を基に、当選番号を決定する手段と、懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付ける手段とを備えたことを特徴とする。  
20

また、請求の範囲第7項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第4項から第6項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、前記懸賞のスポンサーとなる事業者を、所定の懸賞募集期間ごとに変更することを特徴とする。

日時に、スポンサーとなる事業者が公開するホームページ上のアクセスカウンタの計数値を読み取り、該計数値を基に当選番号を決定する手段と、前記当選番号をメールマガジンに登録した参加者に電子メールで通知する手段と、前記当選番号をホームページ上で発表する手段とを備えたことを特徴とする。

- 5      また、請求の範囲第12項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第4項から第11項のいずれか1項に記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、当選者がいない場合、あるいは懸賞の賞金または賞品の受取対象者がいない場合には、該賞金または賞品を次回の懸賞募集に繰り越すことを特徴とする。

- 10      また、請求の範囲第13項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムは、請求の範囲第4項から第12項のいずれか1項に記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システムにおいて、当選者が複数人いる場合には、懸賞の賞金または賞品を分配して授与することを特徴とする。

- 15      尚、前記閲覧者数に対応して変化するアクセスカウンタは、ホームページの閲覧者数をカウントして計数値を加算していく方式が一般的であるが、閲覧者数に対応して変化する数字列、文字列或いは図形であっても良く、さらに増減もいずれの方向であってもよい。アクセスカウンタは、変化した値、形状を指定できるものであれば何れでもよい。

#### 図面の簡単な説明

- 20      第1図は、本発明の実施の形態のシステム構成の一例を示す図であり、第2図は、第1図のシステムの動作を説明するための図であり、第3図は、本発明の実施の形態の他の例の動作を説明するための図である。

#### 発明の実施するための最良の形態

以下、本発明の実施の形態を図示例と共に説明する。

請 求 の 範 囲

1. (削除)

5

2. (削除)

10

3. (削除)

15

4. インターネットのホームページ上に設けられ閲覧者数に対応して変化するアクセス  
カウンタを利用した懸賞システムにおいて、

20 懸賞のスポンサーとなる事業者のホームページを指定する手段と、  
前記指定したホームページ上のアクセスカウンタの予め指定した日時における計数値  
を基に、当選番号を決定する手段と、  
懸賞の参加者と該参加者が予想する当選番号の登録を受付ける手段とを備えたことを特  
徴とするアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

ンタを利用した懸賞システム。

10. 前記カウンタナンバーズセンターのWebサーバには、

ホームページ上で懸賞の実施要領を公開する手段と、

予想当選番号の登録を所定の応募期間、インターネットを介して受付ける手段と、

- 5 予想当選番号の応募期間の終了後の予め指定された日時に、スポンサーとなる事業者が公開するホームページ上のアクセスカウンタの計数値を読み取り、該計数値を基に当選番号を決定する手段と、

前記当選番号をホームページ上で発表する手段とを備えたことを特徴とする請求の範囲第8項または第9項記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

- 10 11. 前記カウンタナンバーズセンターのWebサーバには、

ホームページ上で懸賞の実施要領を公開する手段と、

メールマガジンに登録した参加者に電子メールにより懸賞の実施要領を通知する手段と、

予想当選番号の登録を所定の応募期間、インターネットを介して受付ける手段と、

- 15 予想当選番号の応募期間の終了後の予め指定された日時に、スポンサーとなる事業者が公開するホームページ上のアクセスカウンタの計数値を読み取り、該計数値を基に当選番号を決定する手段と、

前記当選番号をメールマガジンに登録した参加者に電子メールで通知する手段と、

前記当選番号をホームページ上で発表する手段とを備えたことを特徴とする請求の範囲

- 20 範囲第8項から第10項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

12. (補正後) 当選者がいない場合、あるいは懸賞の賞金または賞品の受取対象者がいない場合には、該賞金または賞品を次回の懸賞募集に繰り越すことを特徴とする請求の範囲第4項から第11項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。

13. (補正後) 当選者が複数人いる場合には、懸賞の賞金または賞品を分配して授与す

ることを特徴とする請求の範囲第4項から第12項のいずれかに記載のアクセスカウンタを利用した懸賞システム。